

2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年5月15日

上場会社名 サイジニア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6031 URL <http://www.scigineer.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉井 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 石塚 雅一 (TEL) 050-5840-3147
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の業績 (2018年7月1日~2019年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	512	13.2	△87	—	△87	—	△88	—
2018年6月期第3四半期	452	△4.9	△84	—	△85	—	△98	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭		円 銭				
2019年6月期第3四半期		△42.33		—				
2018年6月期第3四半期		△47.94		—				

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	580	492	83.2
2018年6月期	652	562	83.7

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 483百万円 2018年6月期 546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年6月期	—	0.00	—		
2019年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の業績予想 (2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	663	4.0	△109	—	△103	—	△116	—	△55.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年6月期3Q	2,109,186株	2018年6月期	2,078,185株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2019年6月期3Q	一株	2018年6月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年6月期3Q	2,097,439株	2018年6月期3Q	2,064,404株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられていますが、景気は緩やかな回復基調を維持してまいりました。

一方、先行きについては、米中間の貿易摩擦が激化するなか、景気動向指数からみた国内景気の基調判断も6年ぶりに悪化するなど、予断を許さない状況にあります。さらに、中国経済の減速や、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動などの影響にも、引き続き留意する必要があります。

当社が深く関連する2018年のインターネット広告媒体費のうち、運用型広告費は1兆1,518億円（前年比122.5%）を占め高い成長率となりました。また、大手プラットフォームによる事業は、広告領域だけでなく、AIスピーカーや決済領域への進出など多方面に拡大しております。（出典：株式会社電通「2018年日本の広告費」2019年2月28日）

このような環境のなかで、当社は、パーソナライズ・エンジン「デクワス」をコアとする各サービスを提供し、顧客企業のインターネットを介したマーケティング活動支援に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間は、既存サービスに関しては積極的に受注拡大に努めた結果、パーソナライズ・アドサービスの売上高は前年同四半期比17%増、パーソナライズ・レコメンドサービスにおいては前年同四半期比4%増と順調に推移いたしました。

ソリューションビジネスにおいては、今年度より新たに取り組みを始めた、デジタルナレッジマネジメントサービス（以下「DKMサービス」という。）について、第2四半期より本格的に営業活動を開始いたしました。DKMサービスとは、AIが真価を発揮するために必要なナレッジ（企業が発信する情報等）を、デジタルナレッジマネジメントプラットフォームにより、Google、Apple、Facebook、Amazon、Baiduなどのプラットフォームへ配信するサービスで、当第3四半期は、大手アパレル企業及び大手金融機関から受注を獲得しました。当サービスは、小売業界をはじめ、サービス業界、外食産業、旅行業界、不動産業、教育業界など様々な業界からの関心が高く、多数の企業で導入が検討されております。当社はさらに、「デクワス」との相互補完も行うことにより、DKMサービスの拡大を加速させてまいります。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は512,318千円（前年同四半期比13.2%増）、営業損失は87,778千円（前年同四半期は営業損失84,986千円）、経常損失は87,736千円（前年同四半期は経常損失85,421千円）、四半期純損失は88,774千円（前年同四半期は四半期純損失98,962千円）となりました。

代表取締役をはじめとする取締役の役員報酬については、その経営責任を明確にするべく減額を継続しております。

当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より72,915千円減少し、559,633千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金の減少75,765千円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より636千円増加し、20,844千円となりました。その内訳は、投資その他の資産の増加636千円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より2,763千円減少し、81,302千円となりました。その主な内訳は、買掛金の減少3,042千円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より34千円増加し、6,204千円となりました。その内訳は、資産除去債務の増加34千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より69,550千円減少し、492,970千円となりました。その主な内訳は、利益剰余金の減少88,774千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の業績予想につきましては、2019年2月8日公表の2019年6月期第2四半期決算短信の予想数値から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	538,551	462,785
売掛金	85,770	77,348
仕掛品	821	-
原材料及び貯蔵品	120	121
その他	8,444	20,314
貸倒引当金	△1,157	△935
流動資産合計	632,549	559,633
固定資産		
投資その他の資産		
その他	20,207	20,844
投資その他の資産合計	20,207	20,844
固定資産合計	20,207	20,844
資産合計	652,756	580,477
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,159	45,116
未払法人税等	5,177	3,150
製品保証引当金	5,060	-
その他	25,670	33,036
流動負債合計	84,066	81,302
固定負債		
資産除去債務	6,169	6,204
固定負債合計	6,169	6,204
負債合計	90,235	87,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	788,104	800,961
資本剰余金	785,104	797,961
利益剰余金	△1,026,927	△1,115,702
株主資本合計	546,281	483,220
新株予約権	16,239	9,750
純資産合計	562,521	492,970
負債純資産合計	652,756	580,477

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	452,576	512,318
売上原価	351,657	422,725
売上総利益	100,918	89,592
販売費及び一般管理費	185,905	177,371
営業損失(△)	△84,986	△87,778
営業外収益		
受取利息	51	41
その他	18	1
営業外収益合計	70	42
営業外費用		
支払利息	7	-
支払手数料	494	-
その他	2	-
営業外費用合計	505	-
経常損失(△)	△85,421	△87,736
特別利益		
新株予約権戻入益	-	5,762
特別利益合計	-	5,762
特別損失		
減損損失	12,828	6,087
特別損失合計	12,828	6,087
税引前四半期純損失(△)	△98,249	△88,062
法人税、住民税及び事業税	712	712
法人税等合計	712	712
四半期純損失(△)	△98,962	△88,774

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。